

## おわりに

### 新たな自治の創造への芽生え

第2次ビジョンは、基本理念の一つとして「区民協働による住民自治」を掲げています。ここでは、地域の課題をわが事として考え、自主的に取り組まれている区民協働の事例の一部を紹介します。

自然の中で人と関わりながら、思いっきり遊ぶ原体験を！  
子どもの“根っこ”を豊かに育てる環境づくりへの取組

### 子どもの「あそび場」の運営

子どもが安心してのびのびと遊べる環境が、子どもの心と体が健全に育つために必要不可欠と考え、「こどもの森」や乳幼児向けの野外子育てひろば「おひさまびよびよ」など、23区で最もみどり豊かな練馬の特色を活かした「あそび場」を運営しています。あそび場で出会うゆるやかな人のつながりに見守られながら、子どもがとことん遊んで成長していく、そんな地域づくりに取り組んでいます。



### 中川 奈緒美さん（NPO 法人あそびっこネットワーク 代表）

今どきの子どもたちの生活は、自由な時間と、好きなことができる空間と、一緒に遊ぶ仲間が、どんどん減っているといいます。「やりたいこと」にとことん熱中する遊びの中で、子どもは自分のありのままを全肯定して成長していきます。遊んで育つ子どもたちをあったかく見守る地域を、みんなで作っていききたいと思っています。



地域の住民が身近な場所に気軽に集い、  
お茶を飲みながら、楽しくおしゃべり、いきいき体操

### 街かどケアカフェの運営

区内の17か所（平成30年12月時点）で運営される「街かどケアカフェ」では、高齢者をはじめ、地域の方がふらっと立ち寄り、お茶を飲みながら介護予防について学んだり、健康について相談したりすることができます。

区立施設で行われるもののほか、練馬区と協定を締結した団体が運営する「街かどケアカフェ」もたくさんあります。多くの地域団体の協力によって、体操、手芸、ゲームなど、さまざまなイベントが開催されています。



#### **大湊 正男さん（「気づき“あい”のあるまちをめざす会」・代表）**

南大泉地域集会所にある「街かどケアカフェけやき」で、毎週火曜日と木曜日の午後に「おしゃべりサロンゆったり」を開催しています。高齢者からお子さんまで、多世代が集える居場所づくりを目指しています。





スポーツを通じた交流で、障害のある人もない人も、  
誰もが互いを尊重し、共に活動できる社会へ

## ユニバーサルスポーツフェスティバルの開催

障害の有無によってわけ隔てられることなく、誰もが互いを尊重し、共にスポーツを楽しむ場として開催されているイベントです。スポーツ団体と障害者福祉施設等で構成する実行委員会が運営しています。ボッチャ、風船バレー、ラダーゲッターなど、誰でも楽しめる種目にチャレンジできます。

今後は、各地域体育館や福祉園などに取組みを広げ、誰もが身近な地域でスポーツを楽しめる環境をつくります。



### 石川 正子さん（公益社団法人練馬区体育協会 代表理事）

スポーツ団体と障害者福祉施設との協力で開催に至ることができました。今後も、スポーツを通じて交流の輪を更に広げていきたいと思えます。



「自分達でわがまちを災害から守る」という使命感を持ち、  
地域の防火・防災の要として、安全・安心なまちをつくる

### 地域の消防団活動

消防団は、会社員や主婦、学生など普段は別に本業がある地域の方たちが、災害発生時に消火・救助活動を行う組織です。消防団員の方々は、仕事や学業、家事などに従事しながら「自分達でわがまちを災害から守る」という使命感の下、地域の防火・防災の要として幅広い活動を行っています。

区内には、練馬・光が丘・石神井の3つの消防団がありますが、災害に強い安全なまちづくりの実現には欠かせない組織です。



#### 竹中 千尋さん（光が丘消防団所属）

消防団の魅力は制服がカッコイイだけでなく、救命の知識が身に付き、災害時に行動できる自信をもてることです。アットホームな雰囲気でも活動でき、今では活動がないと寂しいと感じるほどです。仕事と重なり、訓練に参加できなくても理解があり、自分のペースで続けられます。





みどりを楽しむ活動への参加をきっかけに、  
地域のみどりを守り育てるために、自分事として率先して活動

### 花壇の自主管理

みつはし自治会の会員を中心とする有志で、区立大泉橋戸公園内の花壇の自主管理を行っています。「地域のみどり」＝「地域の財産」と考え、ほぼ毎日雑草取りや水やりを行うなど、みどりを守り育てる活動に自発的に取り組んでいます。

公園を訪れる多くの区民が、秋桜（コスモス）やマリーゴールドなど、季節ごとのきれいな花を愛でています。



#### 永井 明さん（弁天池花壇管理委員会 委員長）

公園のベンチで一休み、そこから眺める花壇の  
景観に癒されたのが活動のきっかけです。  
皆さんもぜひ公園に足を向けてみませんか。  
一緒に活動する仲間も募集中です。



練馬ならではの農業体験を通じて  
「食の大切さ」や「つくり育てる喜び」を次世代に伝える

子どもの農業体験

練馬区立田柄小学校では、総合学習の時間を使って、実際に畑で農作物の収穫体験等を行っています。大根の種まき、とうもろこしの収穫などの体験を通じて、「食の大切さ」や「つくり育てる喜び」を子どもたちに伝えています。



**吉田 茂雄さん（練馬区田柄在住）**

子どもたちには、畑での体験を通して、地元で採れる野菜の美味しさや、災害が発生した時の農地の役割などを伝えています。いつまでもみどりが引き継がれていくよう、活動を続けたいと思っています。





練馬産農産物の魅力を「料理」を通じて「人」に伝え、「都市農業ってカッコいい」、「練馬っていいね！」のムーブメントを巻き起こす！

## Nerima 若手 Chefs Club

練馬区独立70周年記念事業「地域おこしプロジェクト」の一環として、練馬駅周辺の飲食店シェフ達が立ち上げた団体です。練馬産農産物を活かしたレシピの開発やオリジナルメニューを味わえるフードイベントの開催などの活動を通じて、料理のプロフェッショナルの立場から、都市農業の魅力を多くの人に伝えています。



### 高橋智行さん (Nerima 若手 Chefs Club 代表)

日々、厨房に立ち、練馬産農産物の魅力を十分に知る私たちがならではのやり方で、練馬が誇る都市農業の魅力を伝えようと始めました。地域おこしプロジェクトとして、区と連携しながら、多くの人を巻き込むムーブメントに広げていきたいです。

